

DECEMBER

12

ひろがれ人権ネットワーク

隣保館だより

ホームページURL  
<https://www.city.miki.lg.jp/site/sou-gourinpokan/>



2025  
Vol.532

◆人権週間(4～10日) ◆障害者週間(3～9日)  
◆北朝鮮人権侵害問題啓発週間(10～16日)



(写真は2017年当時のもの)

【次ページ】

■ 人権の小窓(283) 絵本「バッタくんのおくりもの」に込めた「思いやりの心」

NPO法人 This is MIKI理事長 森田 優

【裏ページ】

- 12月隣保館カレンダー ■ 「教育事業学習交流会」開催される
- 「フラワーアレンジメント教室」ご案内



## 人権の小窓(283)

### 絵本「バッタくんのおくりもの」に込めた「思いやりの心」

NPO法人 This is MIKI 理事長 森田 優

池に石を投げたら波紋の広がる様子が楽しくて。

何度も何度も投げ入れては波紋が広がるのを見てね。

「そんな楽しいか？」って思うけど、そんなことをやって楽しんでいた少年時代。昔の遊びはそんなだったんですよね。

今、市内の小・中学校を中心に人権講演会に呼んでいただいている「\*ムジカドルチェとゆかいな仲間たち」による「キラキラ☆バッタくんコンサート」。そのスタートはこんなふうでした。

#### \*ムジカドルチェ

2007年、小賀野祐子さん(チェロ)と藤田紀子さん(ピアノ)の二人のお母さんが始めたデュオグループ。2023年、矢野明美さん(ピオラ) 加入。

お二人の活動精神は、「音楽を聴きに外に出ることができない方のもとにこそ音楽を届ける」というもの。その話を聞いて「凄いな、この人ら」と思い、「この『優しい気持ち』を老若男女誰もが持ち合わせ、みんなで共有できたら、とっても温かくて幸せなコミュニティができるだろうな」と思いました。

2017年、藤田さんから「10周年やねん」と聞いた時、コンサートを開いてお祝いしよう！ということを決めました。

「優しい気持ち」を「広げる」コンサートにするには、また、そのコンサート後もそれが受け継がれていくようにするにはと考え、思い浮かんだのが、「絵本」でした。

コンサートの日程は11月23日。絵本を制作しようと言い出したのが、9月半ば。難しいか。

三木の応援団、This is MIKIは、この指とまれ方式で、自分たちの得意を持ち寄って、物事を達成し、そうした活動そのものが三木の応援につながるというコンセプトのちょっと変わった応援団です。なので、中学校やらムジカドルチェゆかりの方々やらに「絵本」「絵本」



#### 森田 優(もりた まさる)

三木全体を応援する三木のファンクラブNPO法人 This is MIKI理事長

「さるとる」としてエフエムみっきいのパーソナリティを務め、日々、三木市の情報発信を行う一方、三木市の特産のぶどうを栽培する52歳のおじさん

と声をかけたのですが…誰もいなかった。(笑)

そんなお声掛けをさせていただいた中に、小林伶子先生がおられました。小林先生は、元小学校の校長先生で、これまでのムジカドルチェのコンサート企画で「一日限りの合唱団」に参加。絵や歌がとっても好きで、全校朝会の校長先生からのあいさつでは歌を歌うなどされたこともあったとか。そんなユニークな先生でも、この企画は無茶ぶりだと言われました。で、小林先生がおっしゃったのです。

「思いがあって、やりたいという気持ちが強いんだから、森田さんがやらなければならないわ」

そうか、言い出しっぱの自分がやるしかないか。

先生との雑談で、「山田錦」とか「田んぼ」、「音楽会」というキーワードが浮かんできました。

「これは面白い物語ができそうだ」

家に帰るなり、何かにとりつかれたように書き始めました。





「山田錦」は酒米なので、ご飯の米にしよう。田んぼで音楽会だから秋の虫をイメージして…。秋の虫の代表格ながら、音色を聞いたことがないバッタを主人公に…。物語の構想がどんどん出てきて荒原稿ができました。

さて、誰に絵をつけてもらおうか。

This is MIKIのチラシ等すべてをお任せしているイラストライターの長谷川（現谷本）ゆかりさんに相談しました。長谷川さんが絵をつけるのが無理だと言ったらあきらめようと思っていたのですが、返ってきた答えは、「できると思います」というもの（ヨシ!）。そこから、絵本制作プロジェクトを結成。

ムジカドルチェの「活動精神」は教育の「ドストライク」なのではないかと、僕の小学校時代の恩師で元教育長の井本智勢子先生に「座長になってほしい」とお願い。電話にも関わらず、「あなたの言うことやったら」と快諾を得ました。

絵本ということに関しては、幼稚園の先生やなと思いい、ムジカドルチェ結成のきっかけにもなった市内の幼稚園の園長を歴任した大熊みどり先生にも加わっていただきました。

専門家の意見もほしいということで図書館司書で当時中央図書館館長だった伊藤真紀さんも加わってもらったり…。事務局にはThis is MIKIの井上亜希子さんを据え、もちろんムジカドルチェの藤田紀子さんにも参加してもらって、絵本制作PJがスタートしたのです。それでも第1回の初顔合わせは9月末になっていました。

それまでに長谷川さんが大体の絵コンテを作ってくれていて、それから2ヶ月、夜な夜な集まって原画ができました。めちゃくちゃいいのができました。正直、もう十分に満足でした。お披露目は原画をプロジェクトでスクリーンに映すというもので、その原稿をゲストのアカペラグループ宝船リーダー上北夏味さんが読んでくれました。



最高でした。原画だけで置いておくのはもったいないという気持ちが芽生え、絶対絵本にしたいという気持ちにかられたのです。

そこから1年かけて、いろいろな有力団体に「思い」を伝え、絵本ができ上がりました。

『バッタくんのおくりもの』こんなお話です…。

～バッタになってしまった主人公のゆうまくんが、音楽会を楽しみにしていたのに黒い病にかかって来れなかったイネコちゃんのもとに行き仲間たちと「心」を込めて演奏します。すると、イネコちゃんの体についた黒色のすすがとれ、金色に輝き出し、他の稲たちにも伝わって、あたり一面キラキラの野原が広がっていく・・・～



僕たちがこの物語で伝えたかったことは、誰もが「得意」とすることを持っていること、その「得意」を、「思いやりの心」に集中させることで、困難にも打ち克ち、キラキラな社会を創り出せることです。

この絵本のコンセプトを広めようと考えていた僕は、ある日井本先生に尋ねました。

「先生、『思いやりの心』ってなんやろね」

「『ありがとう!!』じゃない?」

2022年3月9日、「ありがとうプロジェクト」がスタートしました。以前から関係のあった市内4高校と協働して、絵本の主題歌として生まれた「ありがとうのうた」（作詞・作曲ふじわらよしひろ）は、三木高校軽音楽部バンドバージョン、同校吹奏楽部による吹奏楽バージョンから合唱まで広がりました。また、絵本は三木東高校演劇部によって劇化され上演されています。

波紋は、石を投げるごとにできます。1つの波紋だけでなく、投げるごとにできる波紋。いろんな波紋が、重なり、全水面に波紋が広がるそんなイメージを持って、今後も石（意思）を投げていきたいと思っています。



DECEMBER

令和7年  
2025年

## 12月 隣保館カレンダー



日 月 火 水 木 金 土

	1 世界エイズデー いのちの日	2 経営・職業相談 10:00～ 手芸サークル13:30～ 奴隷制度廃止国際デー	3 総合隣保館文化祭 作品展示（～7日） 国際障害者デー	4 人権相談 13:00～ （吉川支所）	5 経営・職業相談 10:00～	6 総合隣保館文化祭 前夜祭18:00～19:15
7 総合隣保館文化祭 記念講演10:00～ 舞台発表13:00～ 抽選会15:00～ 催物10:00～15:00	8 エアロビクス講座 14:30～	9 経営・職業相談 10:00～ 障害者の日	10 世界人権デー	11	12 経営・職業相談 10:00～	13
14	15	16 経営・職業相談 10:00～	17	18 人権相談 13:00～（三木市役所） 手芸サークル13:30～ 国際移民デー	19 経営・職業相談 10:00～	20 書を楽しむきらきら教室 13:00～
21	22 エアロビクス講座 14:30～	23 経営・職業相談 10:00～	24	25	26 経営・職業相談 10:00～ 茶道教室9:00～	27 フラワーアレンジメント 15:00～
28 休館日（～1/4）	29	30	31			

## 「教育事業学習交流会」開催される

恒例の三木市教育事業学習交流会が11月8日（土）、三木山総合公園総合体育館に各学級児童生徒45名、各小中学校の指導者、保護者、地域の方、市職員ほか計約90名が参加して開催されました。他学級の小中学生が入り混じってグループに分かれ、親交を深めました。

第1部では、NPO法人兵庫防災士会より3名の指導者を招き、「防災を学ぼう～自分の命を自分で守るために～」をテーマに三木市における災害リスクや命を守るために自分たちが今できることについての話を聞いたり、非常用トイレの凝固剤の実験などに真剣に取り組み、防災について考えるよい機会となりました。



第2部はバドミントン大会とジャージ組のリーダーたちが指導するレクリエーション交流の2つに分かれて他学級との交流を行いました。

学習や交流を通して命の大切さについてともに学び、学級生どうしの仲間づくりを進めることができました。

「フラワーアレンジメント教室」  
ご案内

日時 令和7年12月27日（土）15:00～  
場所 三木市立総合隣保館  
講師 田中真紀さん  
参加費 5,000円

## 【持ち物】

- ・はさみ
- ・直径15cmぐらいのすり鉢状の器



新春を  
生ける！

申込締切 令和7年12月23日（火）  
TEL 82-8388（橘田）まで

人権啓発紙「隣保館だより」12月号  
令和7年12月1日発行  
三木市市民生活部人権推進課 編集  
〒673-0501 三木市志染町吉田823  
三木市立総合隣保館

TEL 0794-82-8388 FAX 0794-82-8658  
E-mail: jinken@city.miki.lg.jp